

国語 1 事物のよさを調べ、自分の考えを発表する（インスタント食品）

1 青木さんの学級では、食生活について興味をもったことを調べ、学級の友達に発表をすることになりました。青木さんは、インスタント食品について調べています。次は、「青木さんの考え」です。

【青木さんの考え】

インスタント食品にはどのようなよさがあるのだろう。ぼくは、簡単に作ることでできておいしいところだと思っけれど、他の人は、どのようなよさを感じているのかな。家でも食べることがあるから、家の人に聞いてみよう。

青木さんは、取材をして情報を集めています。次は、青木さんが取材をした「家の人の話」、「スーパーマーケットの店長の話」、「一人暮らしの森さんの話」と、青木さんの「メモ①」、「メモ②」、「メモ③」です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【家の人の話】

インスタント食品は、調理が簡単にできるから、いそがしいときには助かっているよ。それに、ずいぶん味がよくなったと思う。それだけではなくて、軽くて持ち運びが楽というところもあるわね。キャンプや登山に行くときには、カップラーメンやカップスープが便利だね。他にも、いろいろな種類が売られているようね。

いろいろな種類が売られている、と言っていただけれど、どのようなインスタント食品があるのかな。近所のスーパーマーケットの人に聞いてみよう。

【スーパーマーケットの店長の話】

いろいろなインスタント食品がありますよ。最近では、次々に新製品が発売され、カレーやシチュー、パスタなど、いろいろな種類があり、好みに合わせて選ぶことができますと好評です。また、フリーズドライという製法で作られたものがありますよ。調理が簡単だけではなく、栄養価が保たれ、もとの味やにおりとほとんど変わらないという特徴があります。インスタント食品は、一食分で売られているものが多いので、一人暮らしの方もよく買われているみたいです。

一人暮らしの人もよく買っている、と言っていただけれど、一人暮らしの人が感じているよさも知りたいな。近所の森さんに聞いてみよう。

【一人暮らしの森さんの話】

インスタント食品は、調理が簡単です。一人だけ作ることができるので、作りすぎたり、食材をむだにしたりすることが少なく助かっています。それに、年をとると買い物に行くのも大変ですが、インスタント食品は長持ちするので、買い置きができて便利です。

【メモ①】

4/17（金）

○取材をした相手
家の人

○インスタント食品のよさ
軽くて持ち運びが楽、いろいろな種類がある

【メモ②】

4/18（土）

○取材をした相手
スーパーマーケットの店長

○インスタント食品のよさ
好みに合わせて選ぶことができる
カレー、シチュー、パスタなど
フリーズドライ製法は
栄養価が保たれる
もとの味やにおりとほぼ変わらない

【メモ③】

4/19（日）

○取材をした相手
一人暮らしの森さん

○インスタント食品のよさ
一人だけ作ることができるから
作りすぎない
食材をむだにすることが少ない
長持ちするから
買い置きができる

- 1 青木さんの取材の進め方の説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。
 - 2 疑問を解決するために、必要な情報を得ることができそうな相手を選んで取材をしている。
 - 3 どのような傾向があるのかを数値を使って示すために、多くのの人に取材をしている。
 - 4 多様な考えを知るために、賛成と反対の両方の立場の人に取材をしている。
- 1 青木さんは、取材をしたことをメモに書き留めています。青木さんの「メモ①」、「メモ②」、「メモ③」のメモの取り方の説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。
 - 2 相手が話したことを全てもらさずそのまま書き留めている。
 - 3 話している相手の表情や様子などを書き留めている。
 - 4 関係する情報と情報とを線で結びながら書き留めている。
 - 5 自分が知れたことを中心に書き留めている。

1. 出題の趣旨

必要な情報を得るために、工夫して取材をしたり、取材したことを基に自分の考えをまとめたりすることができるかどうかをみる。

取材をする際には、目的を明確にした上で収集した知識や情報を関係付けながら進めていくことが大切である。そのためには、メモやノートの内容を比較、対照したり、関連のあることをまとめたり、分類したりして、自分の考えに生かすようにすることが大切である。

本問では、食生活について興味をもったことを調べ、学級の友達に発表する場面を設定した。青木さんは、インスタント食品のよさについて調べるために、必要な情報を得ることができそうな相手を選んで取材をし、分かったことを基に自分の考えをまとめて発表している。ここでは、課題解決に向け、取材の進め方やメモの取り方を工夫したり、自分の意見と比べて考えをまとめたりすることが求められる。

2. 調査問題の活用にあたって

目的や意図に応じて、取材して集めた情報を分類したり関係付けたりすること、話し手の考えなどと比較して自分の考えをまとめることについて、新学習指導要領に基づいて本問の趣旨を生かした授業を行う際の例として、次のような指導事例を紹介する。

【授業アイデア例】

「食生活について興味をもったことを取材して友達に伝えよう」 ～目的や意図に応じて取材の仕方を工夫し、 自分の考えをまとめる～	〈実施対象学年〉 第5・6学年
【指導のねらい】 目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができるようにする。 〔思考力、判断力、表現力等〕A（1）ア 話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができるようにする。 〔思考力、判断力、表現力等〕A（1）エ	

〈学習の流れ〉

	主な学習活動	指導上の留意点
①	○ 身近にある食品について興味をもったことを話し合い、取材して伝え合うという学習の見通しをもつ。 自分が取材して友達に伝えたい話題を決める。 ・食品ロスについて ・健康食品について ・発酵食品について ・乳製品について など (P. 12 参照)	■ 本問の青木さんのインスタント食品に関する取材をきっかけにして、自分が興味をもった身近にある食品について取材し、友達に伝えたいという意欲を高めるようにする。 ■ 学級全体で身近にある食品に関する問題点を挙げたり、取材相手について話し合う活動を取り入れたりすることで、身近な人への取材によって学習が進められそうな話題を選ぶことができるようにする。
②	○ 青木さんを例にして、取材の仕方について話し合う。 (P. 13 参照)	■ 本問における青木さんの取材を例にして気付いたことを発表し合う活動を取り入れることで、互いの意見を参考にして取材の仕方について考えることができるようにする。
③	○ 青木さんの取材を基にして、考えのまとめ方について話し合う。 (P. 14～P. 15 参照)	■ 本問の青木さんの取材を基に話し合うことで、話し手の考えと比較して自分の考えをまとめることについて理解することができるようにする。 ■ 児童の思考に沿って、情報と情報との比較や関係付けが視覚的に分かるように、板書を工夫するようにする。
④	○ 自分が選んだ話題について取材をする計画を立てる。	■ 取材をする前に、自分の考えや知りたいことを整理し、取材の進め方などについて計画を立てることができるようにする。
⑤	○ 取材をする。	■ 取材をする相手は、家族、栄養教諭、養護教諭、児童の身近にいる食品関係の従事者などが考えられる。
⑥	○ 集めた材料を分類したり関係付けたりして、自分の考えをまとめる。	■ 自分の考えをまとめる際には、③の学習を生かすようにする。
⑦	○ 身近にある食品について、取材を通してまとめた考えをペアやグループで発表し合い、学習を振り返る。	■ 友達の発表に対して、感想を述べたり、自分の意見を伝えたりすることで、取材の成果を実感したり、互いの考えを広げたりすることができるようにする。 ■ 本学習で身に付いた力や、今後の学習などに生かしたいことについて振り返ることができるようにする。

① 学習の見通しをもち、自分が取材して友達に伝えたい話題を決める。

青木さんは、インスタント食品のよさについて友達に伝えたいと考えましたが、みなさんは、身近な食品についてどのようなことを取材したいですか。

また、誰に取材をすると情報を得ることができそうですか。



教師



Aさん

納豆は発酵食品だから体によいというテレビ番組を見たことがあります。発酵食品はなぜ体によいのか、納豆の他にはどのような発酵食品があるのかを知りたいです。保健室の先生や栄養士の先生に取材をすれば、分かるかもしれません。



Dさん

僕は、家庭科の授業でも話題になった食品ロスのことになっていきます。食品ロスを減らすために、必要な分だけ食品を買う、買った食品は使い切るなどの取り組みがあることは知っていますが、他にはどのような取り組みがあるのか、詳しく取材してみんなに伝えたいです。近くのコンビニエンスストアでは、食品ロスを減らす取り組みをしていると聞いたので、店長さんに詳しく取材をすれば、分かるかもしれません。

ポイント

児童が主体的に取材活動に取り組むためには、興味や伝えたいという気持ちを引き出し、積極的に話題を選ぶことができるようにする必要がある。そのためには、児童の身近な話題や、他教科等の学習と関連させた話題を取り上げることなどが考えられる。また、取材して必要な情報を確実に収集するためには、目的や意図を明確にすることが大切である。取材したことを最終的にどのように活用して発信するのか、その方法や内容をできるだけ具体的に想定した上で、取材の仕方考えることができるようにすることが大切である。

② 青木さんを例にして、取材の仕方について話し合う。

食生活について興味をもったことを
取材して友達に伝えよう

めあて

取材の仕方について話し合おう。

①取材の進め方

- ・ 疑問に答えてくれそうな人を
考えて取材を進める
- ・ 同じ相手にもう一度取材して、
くわしく聞く
- ・ 賛成と反対の両方の意見の人に
取材して、多様な考えを知る

集めた情報を整理しながら、自分が
必要な情報を得るために、適切な
取材の進め方を選ぶ。

②メモの取り方

- ・ 日付、取材相手の名前
- ・ 記号を使う
- ・ 新しい情報や必要なことだけを
箇条書きで書く

自分が知りたかったことを中心に、
情報を整理しながらメモを取る。

青木さんは、どのように取材を進めたり、メモを取ったりしていますか。



Dさん

青木さんは、取材した内容からさらに疑問が浮かんできたときに、
それに答えてくれそうな人を考えて、取材を進めています。



Aさん

青木さんのように、取材を進めながら集めた情報を整理して、
足りない情報やもっと知りたいことについて、次は誰に何を聞くのかを
考えるのがよいと思います。例えば、場合によっては、同じ人にも
う一度もっと詳しく聞くこともあると思います。



Cさん

青木さんの取材にはなかったのですが、取材を進める中で反対の
意見があった場合、賛成意見と反対意見の両方の人に話を聞くと
いろいろな考え方を知ることができると思います。



Aさん

メモの取り方については、あとで見やすいように、日付や取材相手の名前を
書いたり、記号を使ったりして、情報を整理しています。



Bさん

青木さんは、自分が知らなかった「フリーズドライ製法」という言葉を
メモに取っています。新しい情報について伝えるために、正確に
覚えておきたい言葉はメモに取っておいた方がよいと思います。



Eさん

青木さんは、必要なことだけを箇条書きで書いています。必要のない
ことはあえてメモに取らないという工夫もしているのだと思います。

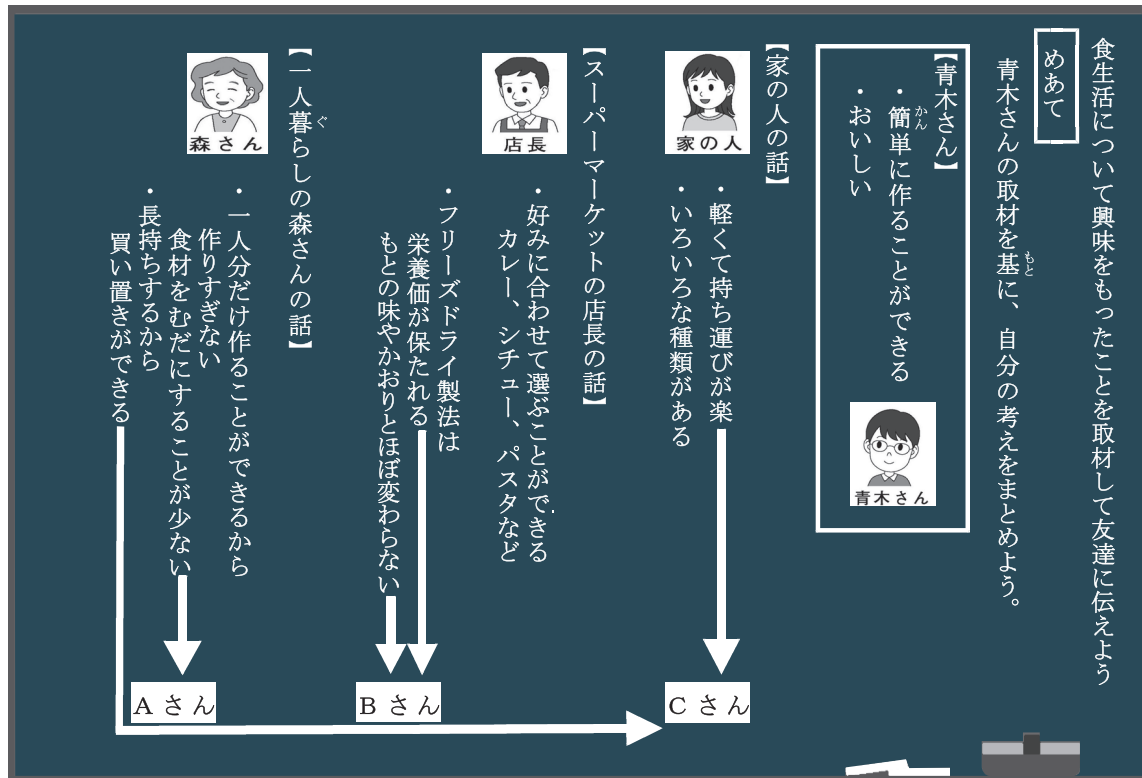
ポイント

人に取材をする場合には、誰にどのようなことを聞くのがよいのかを考える
ことが重要である。取材の進め方としては、本時で取り上げたもの以外にも、
傾向をつかむために不特定多数の人に取材をすることなども考えられる。
目的に合った取材の進め方を選択できるようにすることが大切である。また、
適切にメモを取るためには、目的に応じてメモが必要か否かを判断し、要点を
素早くメモすることが大切である。そのためには、取材して得た情報と情報、
自分の考えとを関係付けながらメモを取るものが求められる。



教師

③ 青木さんの取材を基にして、考えのまとめ方について話し合う。



インスタント食品のよさについて、あなたが青木さんだったら、どのようなことを友達に伝えたいですか。



私は、一人暮らしの森さんの話から、食材をむだにしないことのよさについて伝えたいです。なぜなら、「簡単に作ることができる」「おいしい」ということは、取材をする前から分かっていたので、それ以外のことを伝えたいからです。一食分で売られているので、「食材をむだにすることが少ない」というよさについて、なるほどと思いました。



僕も、取材をする前からインスタント食品は「おいしい」と思っていました。でも、スーパーマーケットの店長の話から、フリーズドライ製法のもは加工する前の味や香りと変わらないおいしさがあることを知り、すごいと思いました。それだけでなく、栄養価が保たれるなんてびっくりしました。そのことを僕は伝えたいです。



なるほど。Bさんは、「おいしい」ということについて、取材前の自分の考えが広がったのですね。



Cさん

僕は、「簡単に作ることができる」「おいしい」に加えて、家の人の話の「軽くて持ち運びが楽」ということと、一人暮らしの森さんの話の「買い置きができる」ということを伝えたいです。この二つの意見は、まさにインスタント食品のよさだと納得したからです。



Aさん

Cさんは、手作리にはない、インスタント食品ならではのよさを選んだんですね。

みなさん、取材前の考えと比べて、自分の考えをまとめていますね。Aさんは、新たに知った情報を伝えたいのですね。Bさんは、新たな情報によって、もともと持っていた知識や考えが広がったことを伝えたいのですね。Cさんは、自分が納得したことや、相手に伝えるときに説得力のある内容が何かを考えて選んでいますね。



教師

ポイント

自分の考えを適切に伝えるためには、自分の目的や意図、聞き手の求めていることに応じて、自分が集めた情報を整理することが求められる。

そのためには、収集した情報を板書などで明示して、それらの情報を分類したり関係付けたりしながら話し合う活動を取り入れ、目的や意図に応じて自分の考えをまとめることができるようにする工夫が求められる。

【活用のポイント】

- 取材して情報収集をする学習では、目的によって取材の方法や内容が変わってくるため、実際に取材をする前に目的を明確にする活動を充実させることが重要である。
- 取材については、得た知識や情報を分類したり関係付けたりして活用することが大切である。また、取材後のみならず、途中の過程においても、目的に照らして、得た情報と自分の考えとを比較しながら取材を進めていくことが重要である。

3. 出典等

漫画 山口育孝 構成 YHB編集企画『学研まんがでよくわかるシリーズ フリーズドライのひみつ』(2017年12月 学研プラス), 日本栄養・食糧学会編『栄養・食糧学用語辞典 第2版』(2015年5月 建帛社), 五十嵐脩・一島英治・大賀圭治・小林彰夫・田島眞・田村真八郎・中村良編『食料の百科事典』(2001年11月 丸善), 食品保存と生活研究会『おもしろサイエンス 食品保存の科学』(2012年1月 日刊工業新聞社)などを参考にした。